

ROBOT ID × Evernote SSO 設定

操作マニュアル

2023 年 9 月 29 日

ブルーテック株式会社

目次

■1 ROBOT ID と Evernote の SSO 連携の流れ.....	1
■2 ROBOT ID の設定.....	2
2-1 カスタム属性を作成する	2
2-2 カスタム属性を設定する	2
2-3 SAML 設定を行う.....	4
2-4 証明書のダウンロードを行う	6
■3 Evernote の設定.....	8
3-1 SSO 設定を行う.....	8

※ご利用ブラウザ、端末のバージョン等により表示画面が異なる場合がございます。

あらかじめご了承ください。

※操作マニュアル中で使用している Evernote の画面は 2019 年 2 月時点のものとなります。

■ 1 ROBOT ID と Evernote の SSO 連携の流れ

ROBOT ID のシングルサインオン（以下、SSO）を利用して他システムと連携するためには、「カスタム属性」「SAML 設定」「セキュリティルール」「アカウント」の設定が必要です。本書では「カスタム属性」の作成手順と Evernote と連携する際の「SAML 設定」の設定値についてご案内いたします。

他の設定につきましては、操作マニュアル「ROBOT ID」をご参照ください。

本設定は ROBOT ID の管理者権限アカウント、Evernote の管理者権限アカウントからのみ設定可能です。

STEP1 ROBOT ID 側でカスタム属性を作成する



STEP2 ROBOT ID 側で SAML の設定を行う



STEP3 ROBOT ID 側で証明書をダウンロードする



STEP4 Evernote 側で SSO の設定を行う

ROBOT ID と Evernote の連携を設定するには、SSO がご利用可能な Evernote のご契約が必要です。

また、Evernote に別途ご利用ユーザーのアカウント登録が必要です。

ただし、Just In Time（以下、JIT）プロビジョニング^{*1}を使用する場合は、アカウント登録不要です。

^{*1} JIT プロビジョニングを使用すると、ROBOT ID から連携先 SP に SSO ログインするタイミングで SP 側にアカウントを作成・更新することができます。

JIT プロビジョニングのご使用は、連携先 SP で JIT プロビジョニングに対応している必要があります。

■ 2 ROBOT ID の設定

ROBOT ID にてカスタム属性の作成、Evernote 用の SAML 設定および証明書のダウンロードを行います。設定は ROBOT ID の管理者権限アカウントからのみ実施可能です。

詳しい設定方法につきましては操作マニュアル「ROBOT ID」も併せてご参照ください。

2-1 カスタム属性を作成する

SAML 設定の「名前識別子の値」(SAMLResponse の NameID) に設定するカスタム属性を作成します。

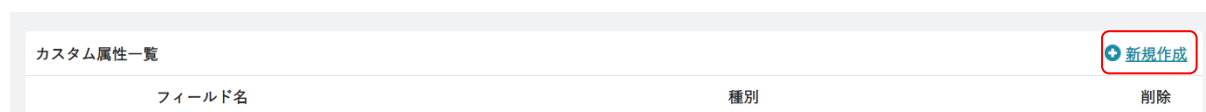
POINT

Evernote の場合、「名前識別子の値」(SAMLResponse の NameID) には Evernote に登録されているメールアドレスを設定します。値の設定は各アカウントで行います。

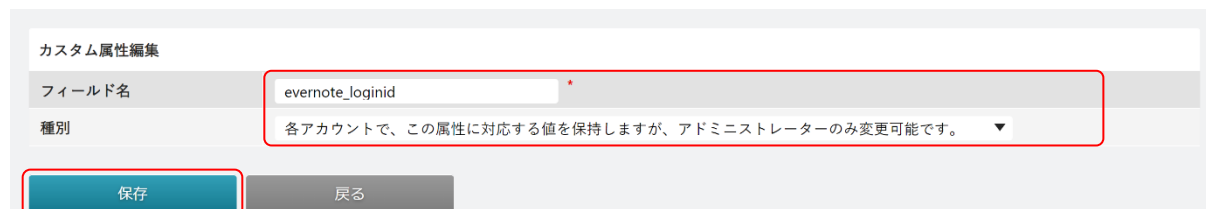
Evernote に登録されているメールアドレス用項目が作成済みの場合は、新規作成する必要はございません。



1. 「カスタム属性」タブをクリックします。



2. 「新規作成」をクリックします。



3. 項目を設定し、「保存」をクリックします。

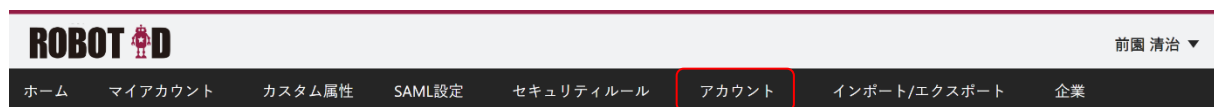
POINT

セキュリティ上、種別は「各アカウントで、この属性に対応する値を保持しますが、アドミニストレータのみ変更可能です。」を選択し、設定値をアドミニストレータで管理することを推奨します。

2-2 カスタム属性を設定する

Evernote との連携用に作成したカスタム属性の値を設定します。

ここでは種別を「各アカウントで、この属性に対応する値を保持しますが、アドミニストレータのみ変更可能です。」とした場合の手順をご案内します。他の種別を選択した場合は操作マニュアル「ROBOT ID」をご参照ください。



1. 「アカウント」タブをクリックします。

アカウント一覧

[+新規作成](#)
[招待](#)

検索

ログインID	名前	メールアドレス	セキュリティルール	パスワード再発行	削除	アカウントロック
b0000@example.com	前園 清治	b0000@example.com	役員用			
b0001@example.com	高宮 ひろ	b0001@example.com	役員用	再発行	削除	オープン中
b0006@example.com	宮崎 貴生	b0006@example.com	営業部	再発行	削除	オープン中

2. 設定するアカウントのログイン ID をクリックします。

アカウント詳細

[編集](#)

ログインID	b0000@example.com
名前	前園 清治
名前 (カナ)	マエゾノ キヨハル
利用許可スマートフォン端末	設定

カスタム属性

[編集](#)

生年月日	
ログインメールアドレス	

Web Authentication

[登録](#)
[編集](#)

有効	名前	識別名	登録時のデバイス	最終使用日時	IPアドレス制限の対象	本人性確認を実施	削除

[戻る](#) [戻る](#)

3. 「編集」をクリックします。

アカウント編集

ログインID

b0000@example.com *

名前

姓 前園 *

名 清治 *

ミドルネーム

名前 (カナ)

セイ マエゾノ

メイ キヨハル

ミドルネーム

メールアドレス

b0000@example.com *

通知用メールアドレス

b0000@example.com *

タイムゾーン

Asia/Tokyo, 日本標準時 ▼

権限

アドミニストレーター ▼

セキュリティルール

役員用 ▼

会社電話番号

0300000000

携帯電話番号

内線

事業部

部門

役職

社員ID

カスタム属性

生年月日

19750101

ログインメールアドレス

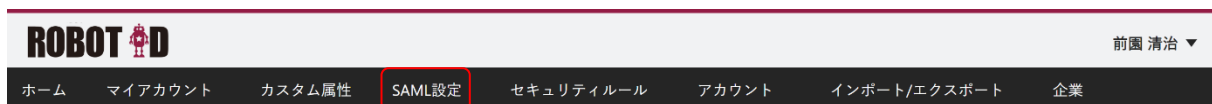
k.maezono@example.jp

保存

戻る

4. 項目を設定し、[保存] をクリックします。

2-3 SAML 設定を行う



1. [SAML 設定] タブをクリックします。

SAML設定一覧						新規作成
有効	名前	ACS URL	SSO利用時のURL	証明書の有効期限	削除	

2. 「新規作成」をクリックします。

ROBOT ID × Evernote SSO 設定

SAML設定編集

名前

Evernote

現在の画像イメージ

画像アップロード

ファイルを選択 選択されていません

接続識別子

evernote

有効

☒ ON ☐ OFF

IdP initiated SSO

☐ ON ☒ OFF

開始URL

エンティティ ID

https://www.evernote.com/saml2

ACS URL

https://www.evernote.com/SamlConsumer.action

SAMLレスポンスに証明書を含める

☐ ON ☒ OFF

署名対象のノード

Response

署名方式

RSA_SHA256

ダイジェスト方式

SHA256

名前識別子の書式

EmailAddress

名前識別子の値

evernote_loginid

現在のSAMLログイン時表示画像イメージ

SAMLログイン時表示画像アップロード

ファイルを選択 選択されていません

属性マッピング

設定欄追加

属性名	属性値	削除
-----	-----	----

保存

戻る

3. 以下の情報を設定し、[保存] をクリックします。

以下の項目は Evernote との連携において必須となる項目です。

名前：連携するシステムの名称など、任意の名前を入力します。

接続識別子：半角英数字で最大 30 文字の任意の文字列を入力します。ここで設定した文字列が「SSO 利用時の URL」に設定されます。

有効：ラジオボタン「ON」を選択します。

IdP initiated SSO：ラジオボタン「OFF」を選択します。

エンティティ ID：「https://www.evernote.com/saml2」を入力します。

ACS URL：「https://www.evernote.com/SamlConsumer.action」を入力します。

SAML レスポンスに証明書を含める：ラジオボタン「OFF」を選択します。

署名対象のノード：「Response」を選択します。

署名方式：「RSA_SHA256」を選択します。

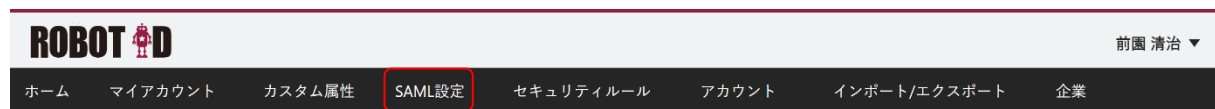
ダイジェスト方式：「SHA256」を選択します。

名前識別子の署名：「EmailAddress」を選択します。

名前識別子の値：[カスタム属性] で作成した項目を選択します。

カスタム属性については本章「ROBOT ID の設定」の「カスタム属性を作成する」をご参照ください。

2-4 証明書のダウンロードを行う



1. [SAML 設定] タブをクリックします。

SAML設定一覧 新規作成					
有効	名前	ACS URL	SSO利用時のURL	証明書の有効期限	削除
ON	Evernote	https://www.evernote.com/SamlConsumer.action	https://robotid.jp/idaas/ft/saml2/*****/evernote	2025/09/22	削除

2. 前項「SAML 設定を行う」で作成した SAML 設定の名前をクリックします。

SAML設定詳細 編集

名前	Evernote
現在の画像イメージ	
接続識別子	evernote
有効	☒ ON ☐ OFF
現在のSAMLログイン時表示画像イメージ	
証明書のダウンロード	Base 64 encoded X.509 (.cer) 形式 メタデータ形式
証明書の有効期限	2025/09/22 再発行

属性マッピング 編集

属性名	属性値

戻る

3. 「証明書のダウンロード」欄にある「Base 64 encoded X.509 (.cer) 形式」をクリックしてダウンロードします。
ダウンロードした証明書ファイルは次項「Evernote の設定」の「Evernote の SSO 設定を行う」で利用します。

POINT

証明書の有効期限が過ぎている場合は「再発行」をクリックしてから証明書をダウンロードしてください。

証明書のダウンロード	Base 64 encoded X.509 (.cer) 形式 メタデータ形式
証明書の有効期限	2025/09/22 再発行

ROBOT ID × Evernote SSO 設定

POINT

「SSO 利用時の URL」に記載されている URL は、次項「Evernote の設定」の「SSO 設定を行う」で利用します。

SAML設定一覧 新規作成					
有効	名前	ACS URL	SSO利用時のURL	証明書の有効期限	削除
ON	Evernote	https://www.evernote.com/SamlConsumer.action	https://robotid.jp/idaas/f/saml2/ ****/evernote	2025/09/22	削除

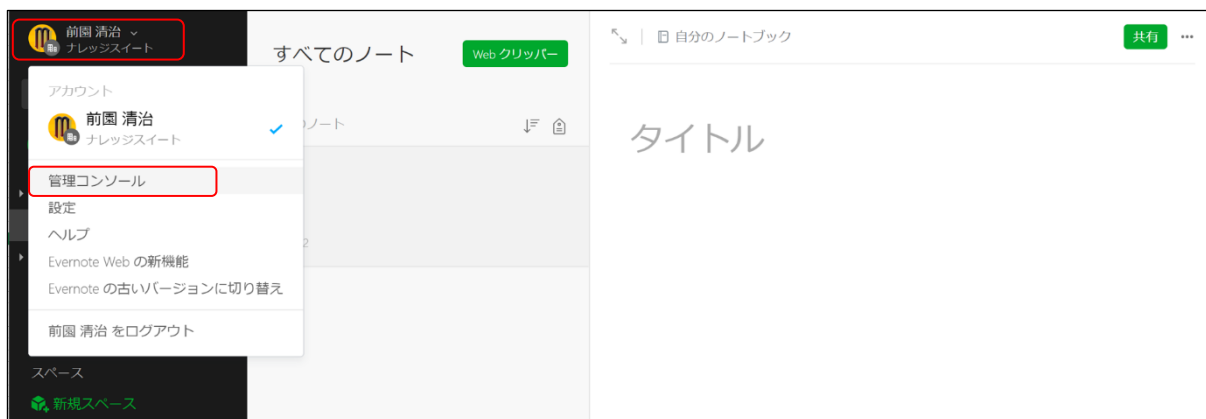
■ 3 Evernote の設定

Evernote にて、ROBOT ID と連携するための SSO 設定を行います。設定は Evernote の管理者権限アカウントからのみ実施可能です。

3-1 SSO 設定を行う

Evernote の SSO 設定にて ROBOT ID の設定を行います。

SSO 設定について詳しくは Evernote の操作マニュアルも併せてご参照ください。



1. アカウント名をクリックし、展開されたメニューから「管理コンソール」をクリックします。



2. 「シングルサインオン (SSO)」をクリックします。

ユーザ
概要
ユーザを追加
ユーザを管理

コンテンツ
スペース
ノートブック
ノート
タグ
ゴミ箱

支払い請求
請求情報
請求履歴
ベータ版の管理

セキュリティ
アクティビティ履歴
シングルサインオン (SSO)

連携
Salesforce
SCIM

認証

シングルサインオン (SSO)

シングルサインオン (SSO) を有効にすると、Evernote Business アカウントに属するユーザはビジネスコンテンツにアクセスできるようになる前に、会社の SAML アイデンティティ・プロバイダ (IdP) の認証が必要になります。

管理者の場合、シングルサインオンを経由せずに Evernote Web 版および Evernote Business 管理コンソールにログインできます。

シングルサインオン (SSO) が有効な Evernote Business アカウントの場合、最初に個人の Evernote アカウントへのログインが必要になり、その後ビジネスアカウント用に SAML の認証手続きを行うことになります。

Evernote は、SAML 2.0 を使用した SP 認証および IdP 認証の両方に対応しています。

- 弊社では、SP から IdP には HTTP Redirect バインディング、そして IdP から SP には HTTP Post バインディングを使用しています。
- Assertion Consumer Service の URL は <https://www.evernote.com/SamlConsumer.action> です。
- NameID には、Evernote Business にユーザが登録しているビジネスメールアドレスを含める必要があります。アサーションには、NameID を `urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emailAddress` の形式で含める必要があります。
- SAML 応答全体に対して署名が必要です。
- 「SessionNotOnOrAfter」の属性が含まれる場合、最低 2 時間以上先の時刻に設定されている必要があります。

SAML HTTP リクエスト URL

https://robotid.jp/idaas/t/saml2/****/evernote

X.509 証明書

```
-----BEGIN CERTIFICATE-----
MIIDCTCCAfGgAwIBAgIJA0gKd4yycJ7NA0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3ds
ZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWla
XElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBAN
Mktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVW
laXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0
GCSqGSIb3DQEBCwUAMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwU
AMQxFeA9BgHVBANMktub3dsZWRnEjVWlaXElMPwycyYVU0GCSqGSIb3DQEBCwUAM
```

3. 以下の情報を設定して「保存&有効化」をクリックします。

以下の項目は ROBOT ID との連携において必須となる項目です。

SAML HTTP リクエスト URL: ROBOT ID に表示されている「SSO 利用時の URL」を入力します。詳しくは第 2 章「ROBOT ID の設定」の「SAML 設定を行う」をご参照ください。

X. 509 証明書: ROBOT ID でダウンロードした証明書ファイルをテキストエディタ等で開き、内容をコピーして貼り付けます。証明書のダウンロードについては第 2 章「ROBOT ID の設定」の「証明書のダウンロードを行う」をご参照ください。